



電気チェーンソー EC-300

取扱説明書

このたびは、弊社電気チェーンソーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

仕 様

電 源	100V 50/60Hz
電 流	9A
消 費 電 力	850W
定 格 時 間	30分
オイルタンク容量	約35ml
ガイドバーサイズ	12インチ(300mm)
チェーンスピード	500m/min
ソーチェーン型式	E50S-45E
ソーチェーン刃ピッチ	3/8LP(インチ)
ソーチェーン刃ゲージ	0.050(インチ)
ソーチェーン刃コマ数	45枚
有 効 切 断 長	約300mm
電 源 コ ー ド	約2.5m
寸 法	W610×D210×H165mm
質 量	約2.5kg

付属品 ※大きさは実寸比と異なります。

ドライバーレンチ×1



ソーカバー(本体装着済)×1



チェーンオイル×1



100ml

二重絶縁 

※製品は改良等のため、予告無く外観・仕様等を変更する場合があります。

※この製品は、海外ではご使用になれません。 USE ONLY IN JAPAN.

能力を超えた過酷な作業や無理な作業は本体の破損や事故に繋がります。取扱説明書の内容を良くお読み頂き、安全にご使用願います。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負う危険が即時に起こる内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。



記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



危険



チェーンソーは木材や木製品を切るための機械ですので、プラスチック・鉄板または木質でないものの切断には使用しないでください。



風・雨・大雪・濃霧等の悪天候時または落石や雪崩の恐れのある場所では使用しないでください。



年少者（子供）には手を触れさせないでください。



安全装置は絶対に取り外さないでください。また、改造は絶対に行わないでください。



点検・調整・作業を中断する時は必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



作業は原則として一人で行い、複数で作業する場合は十分な間隔をとって作業を行ってください。（伐木する場合は、対象木の高さの2.5倍以上離れてください）



機械は確実に保持し、両足を開き安定した姿勢で作業を行ってください。片手持ち作業・無理な姿勢（腕を伸ばす・肩より高い位置に上げる）での作業・不安定な場所での作業・安全を確保できない場所での作業は行わないでください。



ガイドバー先端部（特にガイドバー上部1/4の部分）での作業は絶対に行わないでください。突っ込み切り作業はキックバックの原因となり大変危険です。



伐採する前に安全な避難場所を確保してください。また、作業中は常に木の倒れる方向に注意してください。



伐採する前に邪魔になる障害物（枝・灌木等）を除去し、伐採方向は対象木の状態（幹の曲がり具合・枝の張り具合等）や周囲の条件（隣接木の状態・障害物の有無・地形・風向き等）を総合的に判断して決めてください。

- ❗ 曲げられている枝・掛かり木・裂けている木等を切断する場合には、跳ね返りに注意してください。（できるだけ十分な訓練と経験を積んだ業者に依頼してください）
- ❗ 傾斜地では、木が転がらないことを確認のうえ、常に山側に立って作業を行ってください。
- ❗ 高所作業（高さが2mを超える箇所での作業）を行う場合は、高所作業用の機器を使用し、安定した足場を確保すると同時に安全帯（芯入り）を必ず着用して身体をしっかりと固定してください。

警告

- ❗ 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いたときは、直ちに使用を中止してください。
- ❗ 取付部品や運転等に異常のある電動工具は使用しないでください。
- ❗ 能力を超えた作業はしないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。
- ⊘ 可燃性の液体（ガソリン、シンナー等）、ガスのある場所では作業しないでください。
- ⊘ 雨の中や湿気の多い場所では使用しないでください。感電の恐れがあり危険です。
- ❗ 疲れている時や、体調の悪い時はご使用にならないでください。
- ⊘ 運転中、可動部には絶対触れないでください。また、手や顔を近づけないでください。
- ❗ 作業中は手袋、耳栓、保護メガネ、滑りにくい靴を着用してください。
- ❗ 作業は動きやすい身軽な服装で行ってください。ネクタイ・袖口の開いた服等は可動部に巻き込まれる恐れがあり大変危険です。
- ❗ 作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。
- ❗ 加工素材は安定性の良い台の上に置き、作業してください。
- ❗ 使用中は本体を確実に保持してください。
- ⊘ 本体を逆さまにしての使用はしないでください。
- ❗ 落としたり、ぶついたりした場合には異常の有無を確認してください。
- ⊘ 加工素材を手に持って作業しないでください。
- ❗ 運転に異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ❗ 作業場はきれいに整理をし、十分な採光の元で作業を行ってください。
- ⊘ 電動工具を使用中アースされているものに体を接触させないでください。
- ❗ 使用中、両手で確実にハンドルを保持してください。
- ❗ チェーン刃は使用説明に従いしっかりと取り付けてください。
- ❗ 不安定な姿勢では作業しないでください。
- ⊘ 肩よりも上では使用しないでください。
- ⊘ 刃の先端部では切断作業をしないでください。枝や壁・地面等にも触れさせないようにしてください。
- ❗ 必ずガード等部品を全て取り付けてください。
- ❗ チェーンの張りは常に調整してください。ゆるんでいるとキックバック等、さまざまな事故の原因となります。

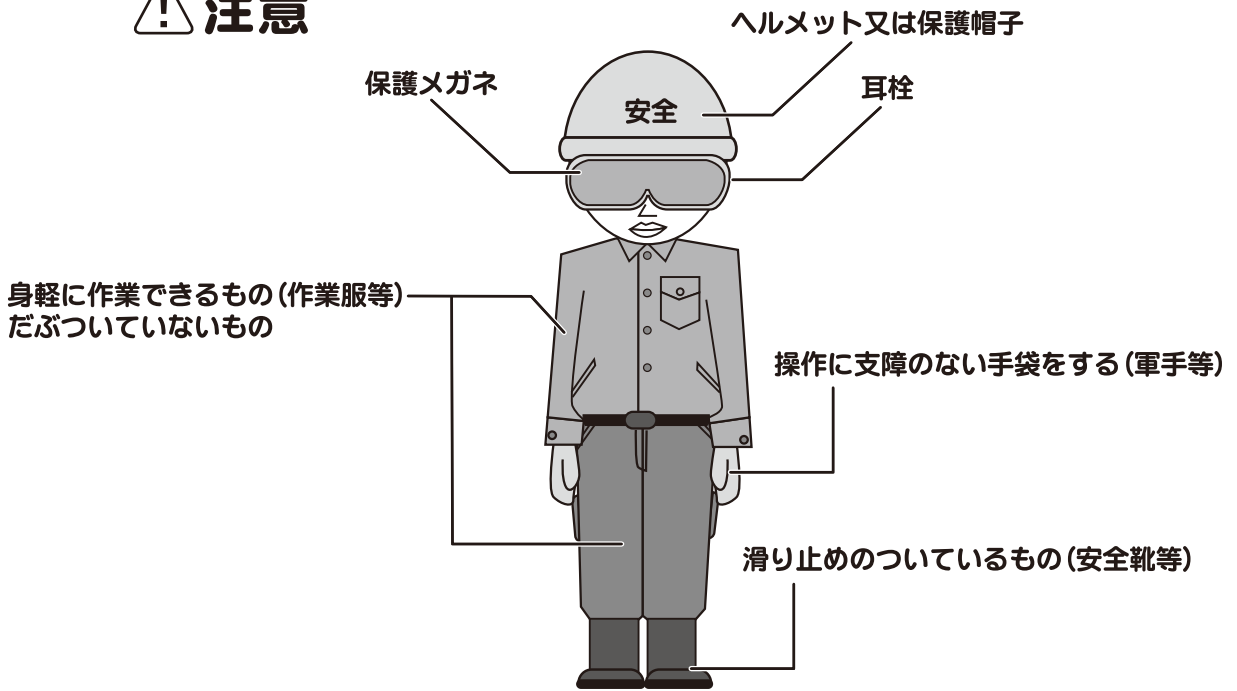
- ❗ 使用中チェーンソーの延長線上に体を置かないでください。必ず少し左に体を置いてください。
- ❗ 十分に回転数をあげてから切断素材に当ててください。素材に当ててからスイッチは入れないでください。大変危険です。
- ⊘ 一度に2本の丸太の切断はしないでください。
- ⊘ 一日のチェーンソーの操作時間は2時間以内にしてください。
- ❗ 作業時は、石・金属等の硬いものにソーチェーンを当てないようにしてください。

注意

- ❗ 本機はDIY商品として開発された製品です。一般家庭用としてご使用ください。
- ❗ 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用后及び停電の際は、スイッチを切って電源プラグを抜くよう心がけてください。
- ❗ 整備点検・部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、電源プラグを電源から外してください。
- ❗ コードを引っ張ったり、コードを乱暴に扱わないでください。
- ❗ 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。100V用のモーターを200Vで使用しますとモーターが発熱して危険です。逆に低い電圧で使用しますと、力不足になります。
- ❗ 無理な姿勢では作業しないでください。
- ❗ スwitchを切った後も惰性で回転していますのでご注意ください。
- ❗ スwitchを固定して回転させたり、コンセントを差したまま台の上や床の上に放置しないでください。
- ❗ 周りの状況を確認したうえで十分に注意をしてご使用ください。
- ❗ 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用后すぐ外すようにしてください。スイッチを入れる前に、それらが外してあるか確認してください。
- ❗ 本機はお子様の手が届かない所に保管してください。
- ❗ チェーン刃は本機に合ったものをご使用ください。
- ❗ 使用前に各部のネジ類がしっかりと締め付けられているか確認してください。
- ❗ 電源コードが作業範囲から離れた位置にあることを確認してください。
- ❗ 使用しない時は必ずソーカバーをしてください。
- ❗ ソーチェーンの交換等の際は保護手袋等をしてケガのないようにしてください。
- ❗ チェーンオイルはチェーンがスムーズに動くために必要なものですので使用中、使用前等に補充してください。
- ❗ エンジン発電機から電源を取った場合、電圧の変化によって回転が速くなることがありますのでご注意ください。
- ❗ 作業は早朝や黄昏時には行わず、視界の良い日中に行ってください。

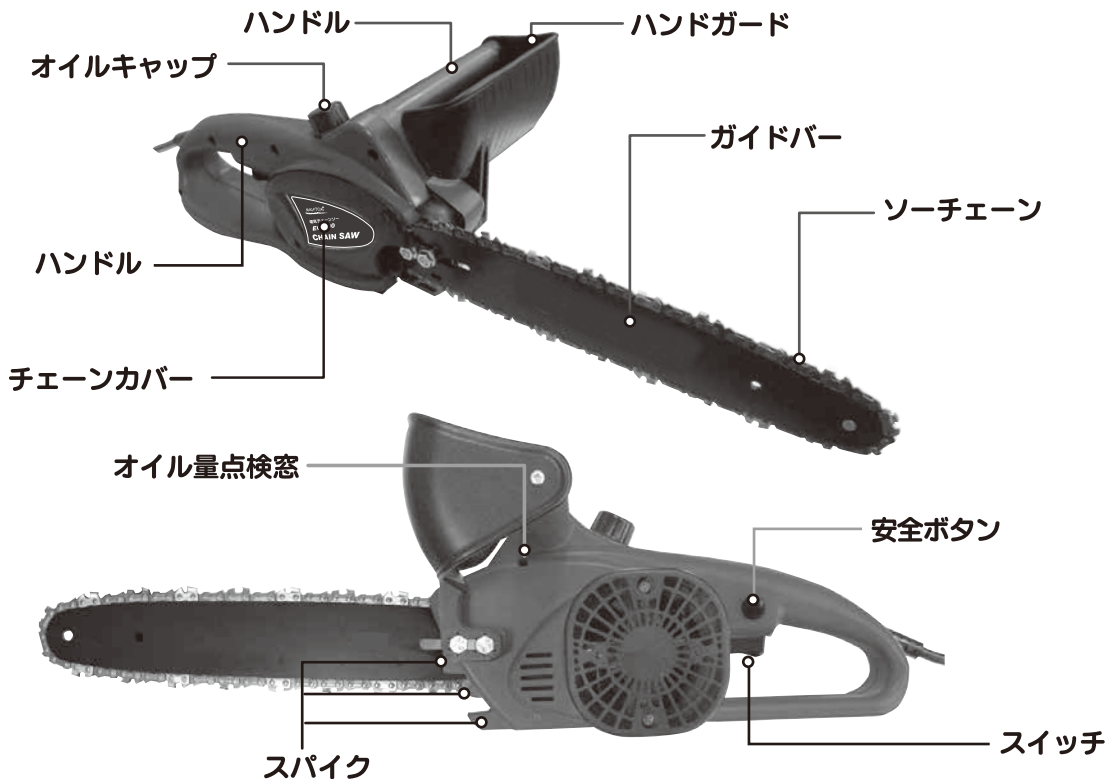
安全上の注意事項を守って、正しくお使いください。

⚠ 注意



上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

各部名称



ご使用前に

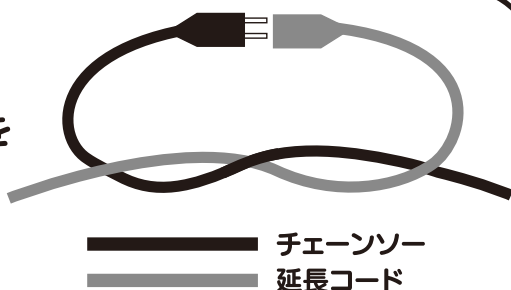
- ・作業場はきれいに整理をし、十分な採光の元で作業を行ってください。
- ・延長コードを使用される場合には、必ず長さに合った太さのコードを使用してください。

(目安)

コード断面積	コード長さ
2mm ² の場合	15m以下
3.5mm ² の場合	30m以下

※細い電線を使ったりしますと電圧が低下しモーターの力が弱くなります。

延長コードをご使用の場合は作業中の抜けを防止するため右図のように接続してください。



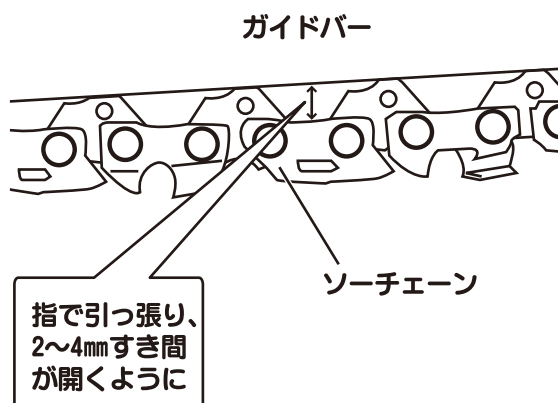
作業前の点検・準備

ソーチェーンの張り調整

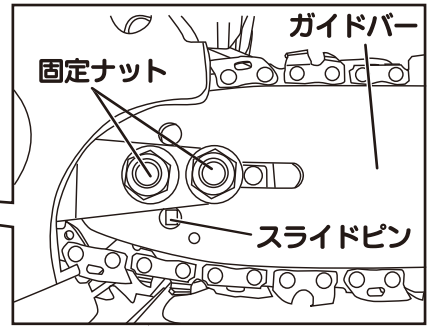
⚠ 注意

- ・必ず電源プラグがコンセントから外れていることを確認してから行ってください。
- ・新しいソーチェーンは伸びが発生するため、多少使用した後に点検を行ってください。
- ・ソーチェーンを扱う際、ケガのないようにするため、保護手袋を着用してください。

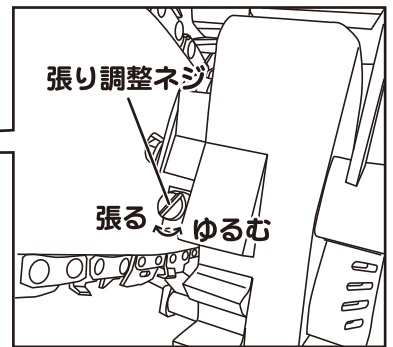
ソーチェーンの真中辺を指で引っ張ったとき、ガイドバーとソーチェーンのすき間が2~4mmになるよう調整してください。
(調整方法は6 P参考)



拡大図



拡大図



- (1) ガイドバーを固定している固定ナット2ヶ所を付属のドライバーレンチを使ってゆるめます。
- (2) 付属のドライバーレンチのマイナスドライバー側を使って張り調整ネジを廻してください。
時計方向に廻すとソーチェーンは張り、反時計方向に廻すとソーチェーンがゆるみます。
※ソーチェーンの真中辺を指で引っ張ったとき、ガイドバーとソーチェーンのすき間が2~4mmになるよう調整してください。
- (3) 張り調整が完了しましたら、スライドピンがガイドバーの穴に入っていることを確認して、固定ナット2ヶ所をしっかりと締め付けてください。

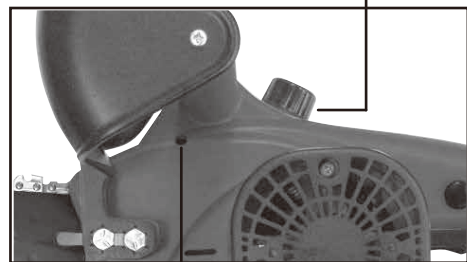
オイルの点検

必ず使用前にオイル量点検窓からオイルの量を確認してください。

点検窓からオイルが見えない場合には、オイル残量がわずかしかないのでオイルキャップを外しオイルを補充してください。

付属のオイルが終わりましたら、市販のチェーンソーオイルまたは、エンジンオイルSAE # 30相当のものをご使用ください。

オイルキャップ



オイル量点検窓

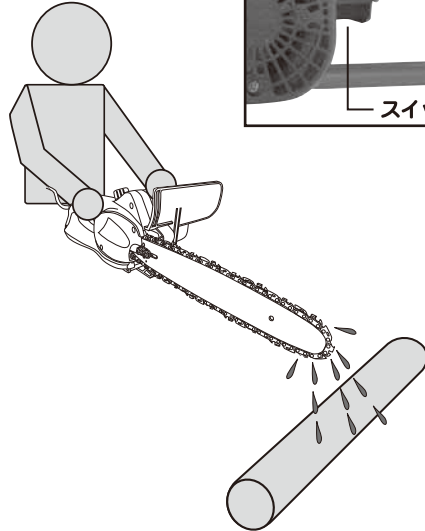
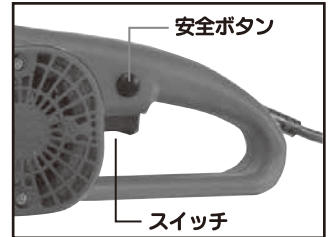
使用方法

スイッチ

⚠ 注意

- 周りを確認したうえでスイッチを入れてください。
- 必ず使用前にソーチェーンのゆるみやオイル量、各部の点検を行ってください。

- ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れてください。
親指で安全ボタンを押しながらスイッチを握るとソーチェーンが回転します。
この時、ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。
- ※ 回転したあとは安全ボタンを押している必要はありません。
- 停止させる際はスイッチを離してください。
回転が止まります。



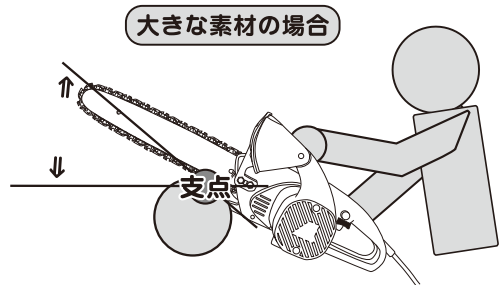
切断

⚠ 注意

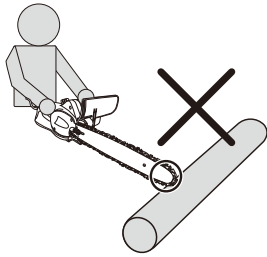
- 負荷をかけ過ぎますとモーター焼きつきの原因となりますのでご注意ください。
- しっかりと両手でハンドルを保持してください。
- 必ず使用前にソーチェーンのゆるみやオイル量、各部の点検を行ってください。
- 下に置く時は必ず回転が止まっていることを確認してから置いてください。
- 切断中は最高速の状態を保ってください。また切断終了までスイッチは切らないでください。
切断が終了しましたらスイッチを切ってください。
- ソーチェーンの刃が痛んでいると切れ味が悪くなるばかりでなく、必要以上の力が必要になりモーターが焼ける原因となります。使用前・使用中、刃が傷んでいないか確認し、傷んでいる場合にはソーチェーンの目立てまたは交換を行ってください。



ガイドバーの手前側を切断材料に当てて切断してください。



スパイクを支点にしてテコを応用して切断してください。
※ 必要以上の力を入れての使用、必要以上に押さえつけるような使い方をするとモーターが焼ける原因となります。

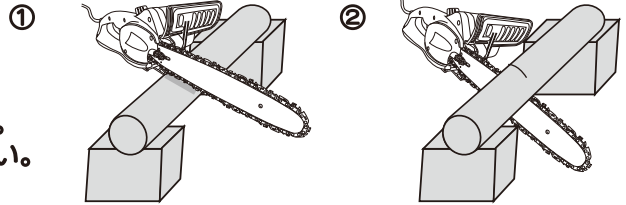


⚠ 警告

ガイドバー先端部での切断は絶対にしないでください。
キックバックの原因になり大変危険です。

両側が上がった丸太の切断

- ①丸太の上側から1/3程切り込みを入れます。
②丸太の下側から上方に向かって切断してください。
※①でつけた切り込みの真下から切断してください。



ソーチェーンの交換

交換用ソーチェーンをお求めの際は、本機お買い上げ販売店または、お近くのホームセンターへお問い合わせください。

⚠ 注意

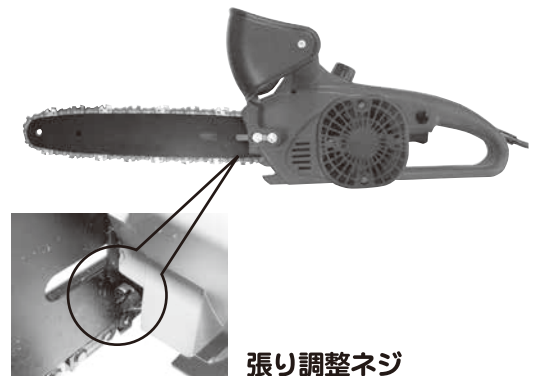
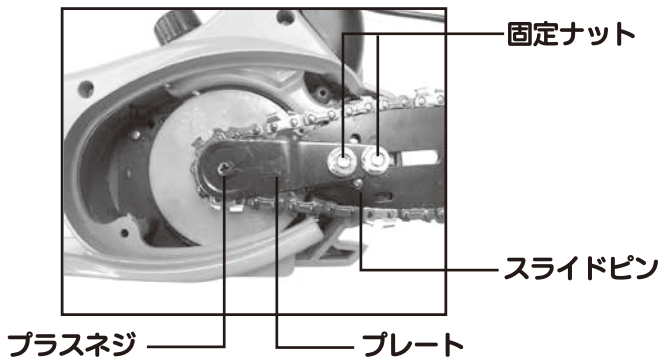
- ・ソーチェーンの交換は必ず電源プラグがコンセントから外れていることを確認してから行ってください。
- ・ソーチェーンを扱う際、ケガのないようにするため保護手袋を着用してください。

取外し

チェーンカバーを固定しているネジをゆるめて、チェーンカバーを外してください。
固定ネジは2箇所です。



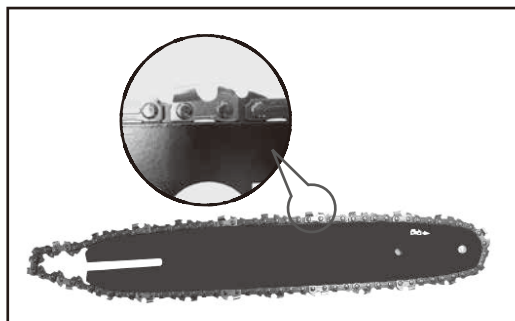
固定ナットとプラスネジを外し、プレートを取り外します。張り調整ネジを左に廻して張りをゆるめ、ソーチェーンを取り外してください。



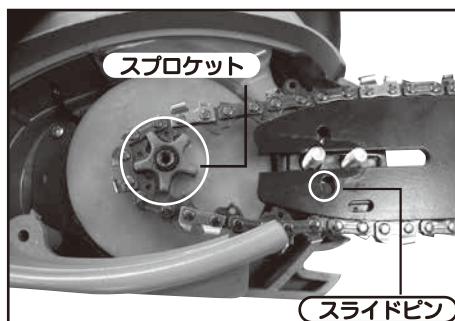
取り付け

取り外しと逆の手順で取り付けてください。

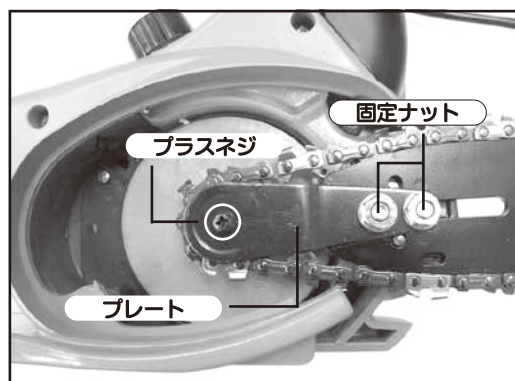
※ソーチェーンの取り付け方向にご注意ください。逆方向に取り付けますと振動するだけで切断はできません。



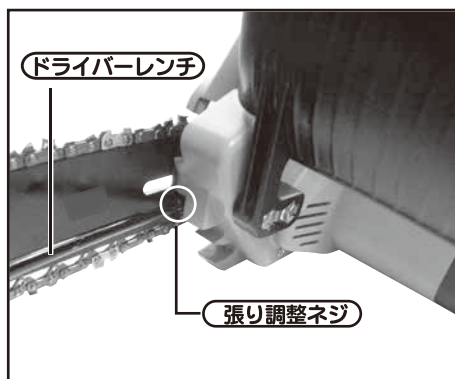
①ガイドバーの溝にソーチェーンを合わせてはめ込みます。



②スプロケットにソーチェーンを掛けガイドバーの穴とスライドピンを合わせはめ込みます。



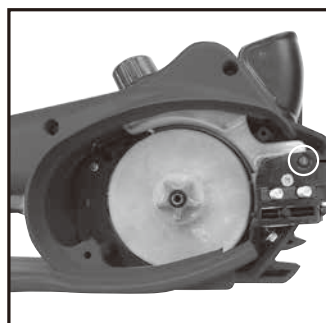
③プレートを取り付け、固定ナット2ヶ所を回して仮止めし、プラスネジをしっかりと締めてください。



④張り調整ネジを回し、張りを調整してください。
固定ナット2ヶ所を締め付けてください。
(ソーチェーンの張り調整P5・6を参照)

保守と点検

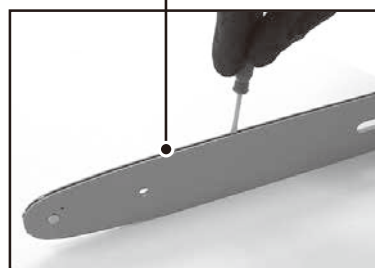
- 本体はきれいにして保管してください。点検、清掃をすることが長寿命につながります。
- ゴミ、ホコリの多い場所、湿気の多い場所、風通しの悪い場所では保管しないでください。
- 点検、清掃の際、本体は水を使わずにきれいな布で拭いてください。
- ガソリン・シンナー、石けん、水を使つての清掃はしないでください。本体が痛む原因・故障の原因となります。
- 使用後は各部のホコリや切屑を取り除き、きれいにしてから保管してください。
- 使用しない時や保管の際は必ずソーカバーを付けてください。
- ◎ソーチェーンは切れ味の良い状態を保ってください。切れ味の悪いソーチェーンを使用していますと本機の故障や事故に繋がる恐れがあります。
- 部品の点検・交換の際は、必ずスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。
- チェーンオイルの出が悪い場合には、
オイル吹出穴を点検し清掃をしてください。



オイル吹出穴

- ガイドバーの溝に切屑が詰まった場合は切屑を取り除いてください。
そのままにしておきますと、チェーンオイルがソーチェーン全体に行き渡らなくなります。
ソーチェーンの目立てや交換を行うときに、ガイドバーの溝に入った切屑を除去してください。

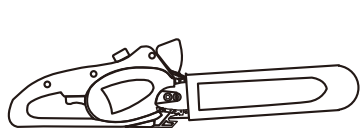
ガイドバー溝



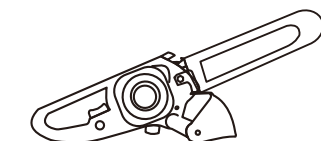
※ガイドバーのソーチェーンは外してあります。

保管方法

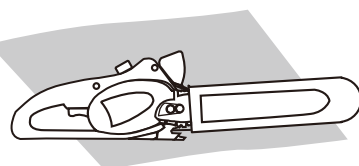
- ◆構造上チェーンオイルがオイルタンクの吹出穴より漏れますので、保管の際は下記いずれかの方法で保管してください。



①オイルを抜いて保管



②逆さまにして保管

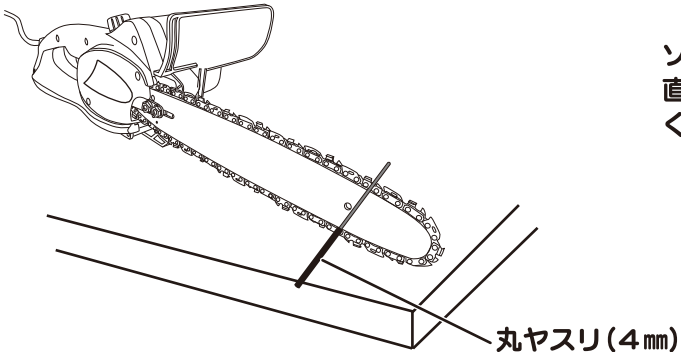


③下に汚れても良いものを敷いて保管

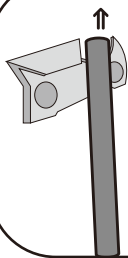
目立て方法

⚠ 注意

・必ずコンセントから電源プラグを抜いてあることを確認してから行ってください。

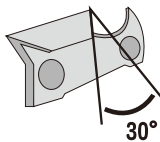


ソーチェンの張りが適正な状態で本体を固定し、直径4mmの丸ヤスリを使用して目立てを行ってください。



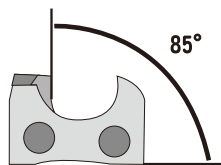
目立ては刃の手前から奥に向かって押し出してください。
2・3回押し出せば刃は鋭くなります。

上刃の目立て角度



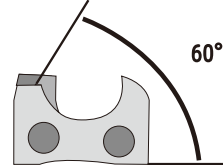
30°

横刃の目立て角度



85°

上刃の切削角度



60°

目立ては左右のどちらか一方を終えてからもう片方の刃の目立てを行ってください。

チェーンソー本体の異常や修理の際は、お買い上げの販売店もしくは弊社までお申し付けください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。